



Eジャーナルしずおか

平成26年(2014年)
1月24日
金曜日
第127号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoul_selsaku@pref.shizuoka.lg.jp

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

高校生の台湾スポーツ交流

県教育委員会では、教育・スポーツ・文化等幅広い分野において、未来を担う青少年の相互交流を通じて友好親善関係を進展させることに努めています。

その一環として、台湾とのスポーツ交流の第5回目を迎えた本年度は、台湾6市縣を代表する新北市・台中市の高校野球チームが来静し、本県代表の8校と「高校野球」の交流親善試合を11月16、17日に実施しました。

台湾最強チームとの交流

今回、来静した台湾チームは、WBC台湾代表選手を抱える国内最強のチームもありましたが、今秋の地区大会上位校が健闘し、3勝1分け4敗という結果を残しました。

試合において、本県球児は台湾チームの驚異的なパワー、スピード、プレイスタイルの違いを体感し、自らの野球に対する意識を再確認するとともに個人の力を更に高めていく必要性を強く感じる事ができました。

逆に、台湾チームは、本県チームの入退場やグラウンド整備のきびきびとした行動、礼儀正しきなどの振る舞いがとても素晴らしいことに選手・指導者ともに感銘を受けていました。

また、今回の交流親善試合を会場で見た人々は、大差で勝っている試合でも最後まで全力を出し切って戦う姿や決して諦めずに仲間を思いやり、励まし合いながら最後まで真摯に野球に取り組む球児の姿に爽やかな感動を覚えたことと思います。

言葉が通じなくても...

試合の後は選手交流会が行われました。初めはお互いに硬さがありましたが、すぐに打ち解け、本県の球児たちは身振り手振りを交えた英語で台湾選手と交流するなど、文化の違いや互いの生活習慣などを理解しようとしていました。また、肩を組んで楽しそうに写真に写る選手たちからは、スポーツ交流を通じた友好親善関係が進展し、青少年の国際交流事業のすばらしさを感じる事ができました。



本県・台湾の高校生が皆で肩を組み記念撮影

【スポーツ振興課】

経営力向上を 目指して

その一つとして、本年

経営力向上を
目指して

もう一つの試みとして、

指導・育成の輪の広

がりを目指して

大量採用期世代の退職
時期を目前に控えた今、
センターでは、県教育界
の未来をリードする頼も
しいミドルリーダーを育
めるため、新たな試みを
始めています。

新し視点で自分を振
り返ることができたこと
声が多く寄せられていま
す。10年の節目に新たな
風を吹き込む、刺激ある
研修となつていきます。

10年研の研修員は、熟
練の研修員から今後の
取組に対する具体的なア
ドバイスを受けることが
できます。熟練研の研修
員は、10年研の研修員に
アドバイスをするという
機会を通して、指導・育

成力を更に向上させるこ
とができます。研修全体
の運営と指導・助言は指
導主事が行っています。
【10年研研修員の声】

「自分が役立てたことが
喜びになった。
・教員としての今を問い
直し、今後の有り様を見
極める契機になった。
未来の教育界に思いを
はせ、今後、自身が学校
運営にどのように参画し

度から企業経営者による
講演を行っています。「組
織の活性化」「リーダー
の役割」など「経営マネ
ジメント」に関わる内容
です。つまり、この研修
を修了すると、いよいよ
学校の中核として活躍す
ることが期待されている
わけです。ミドルリーダ
ーとして、学校経営に参
画したり、後輩を指導し
たりという役割が求めら
れます。

「10年研研修員の声」
・学校現場にない成果の
視点が斬新に感じられ
感慨深い時間になった。
・ビジョンをしつかり持
ち前進したいと思った。
・部下をやる気にさせる
リーダーになりたい。
新しい視点で自分を振
り返ることができたこと
声が多く寄せられていま
す。10年の節目に新たな
風を吹き込む、刺激ある
研修となつていきます。

10年研の研修員は、熟
練の研修員から今後の
取組に対する具体的なア
ドバイスを受けることが
できます。熟練研の研修
員は、10年研の研修員に
アドバイスをするという
機会を通して、指導・育

「自分が役立てたことが
喜びになった。
・教員としての今を問い
直し、今後の有り様を見
極める契機になった。
未来の教育界に思いを
はせ、今後、自身が学校
運営にどのように参画し

研修のセッション研修 イメージ図
10年経験者研修グループ
熟練の技術伝授研修

「今後の教職人生にお
いて目指したい教師像」
について語り合い、自分
の進むべき方向性を明確
にしていきたい。10年研の
グループワークに、熟練研
の研修員がアドバイザー
として参加するという研
修です。(左図参照)

「目指す教師像とそこ
に至る具体的な取組が明確
になり、学校運営の中で
ミドルリーダーとしてど
のような動きをしたらよ
いかなかを考える機会とな
ったことが考えがえやす
なりました。
【熟練研研修員の声】

研修のセッション研修
は、双方の研修員にと
って、自己を見つめ直す
機会となり、学校運営へ
の参画や若手教員への指
導・育成の意識が高まる
研修となりました。

研修のセッション研修
は、双方の研修員にと
って、自己を見つめ直す
機会となり、学校運営へ
の参画や若手教員への指
導・育成の意識が高まる
研修となりました。

研修のセッション研修
は、双方の研修員にと
って、自己を見つめ直す
機会となり、学校運営へ
の参画や若手教員への指
導・育成の意識が高まる
研修となりました。

「目指す教師像とそこ
に至る具体的な取組が明確
になり、学校運営の中で
ミドルリーダーとしてど
のような動きをしたらよ
いかなかを考える機会とな
ったことが考えがえやす
なりました。
【熟練研研修員の声】

研修のセッション研修
は、双方の研修員にと
って、自己を見つめ直す
機会となり、学校運営へ
の参画や若手教員への指
導・育成の意識が高まる
研修となりました。

研修のセッション研修
は、双方の研修員にと
って、自己を見つめ直す
機会となり、学校運営へ
の参画や若手教員への指
導・育成の意識が高まる
研修となりました。

研修のセッション研修
は、双方の研修員にと
って、自己を見つめ直す
機会となり、学校運営へ
の参画や若手教員への指
導・育成の意識が高まる
研修となりました。

研修のセッション研修
は、双方の研修員にと
って、自己を見つめ直す
機会となり、学校運営へ
の参画や若手教員への指
導・育成の意識が高まる
研修となりました。

「目指す教師像とそこ
に至る具体的な取組が明確
になり、学校運営の中で
ミドルリーダーとしてど
のような動きをしたらよ
いかなかを考える機会とな
ったことが考えがえやす
なりました。
【熟練研研修員の声】

研修のセッション研修
は、双方の研修員にと
って、自己を見つめ直す
機会となり、学校運営へ
の参画や若手教員への指
導・育成の意識が高まる
研修となりました。

研修のセッション研修
は、双方の研修員にと
って、自己を見つめ直す
機会となり、学校運営へ
の参画や若手教員への指
導・育成の意識が高まる
研修となりました。

研修のセッション研修
は、双方の研修員にと
って、自己を見つめ直す
機会となり、学校運営へ
の参画や若手教員への指
導・育成の意識が高まる
研修となりました。

研修のセッション研修
は、双方の研修員にと
って、自己を見つめ直す
機会となり、学校運営へ
の参画や若手教員への指
導・育成の意識が高まる
研修となりました。

「目指す教師像とそこ
に至る具体的な取組が明確
になり、学校運営の中で
ミドルリーダーとしてど
のような動きをしたらよ
いかなかを考える機会とな
ったことが考えがえやす
なりました。
【熟練研研修員の声】

研修のセッション研修
は、双方の研修員にと
って、自己を見つめ直す
機会となり、学校運営へ
の参画や若手教員への指
導・育成の意識が高まる
研修となりました。

研修のセッション研修
は、双方の研修員にと
って、自己を見つめ直す
機会となり、学校運営へ
の参画や若手教員への指
導・育成の意識が高まる
研修となりました。

研修のセッション研修
は、双方の研修員にと
って、自己を見つめ直す
機会となり、学校運営へ
の参画や若手教員への指
導・育成の意識が高まる
研修となりました。

研修のセッション研修
は、双方の研修員にと
って、自己を見つめ直す
機会となり、学校運営へ
の参画や若手教員への指
導・育成の意識が高まる
研修となりました。

「目指す教師像とそこ
に至る具体的な取組が明確
になり、学校運営の中で
ミドルリーダーとしてど
のような動きをしたらよ
いかなかを考える機会とな
ったことが考えがえやす
なりました。
【熟練研研修員の声】

研修のセッション研修
は、双方の研修員にと
って、自己を見つめ直す
機会となり、学校運営へ
の参画や若手教員への指
導・育成の意識が高まる
研修となりました。

研修のセッション研修
は、双方の研修員にと
って、自己を見つめ直す
機会となり、学校運営へ
の参画や若手教員への指
導・育成の意識が高まる
研修となりました。

研修のセッション研修
は、双方の研修員にと
って、自己を見つめ直す
機会となり、学校運営へ
の参画や若手教員への指
導・育成の意識が高まる
研修となりました。

研修のセッション研修
は、双方の研修員にと
って、自己を見つめ直す
機会となり、学校運営へ
の参画や若手教員への指
導・育成の意識が高まる
研修となりました。

青年が生み出す 日中友好の力

様子でした。
中国青年との絆
中国での反日デモなど、
メディアで見聞きしたイ
メージのため、本交流へ
の参加に不安を抱えてい
た青年も少なからずいま
は、しかし、1泊2日
のホームステイを終えて、
23年度から青年交流事業
を行う予定です。
青年の顔はみな笑顔でし
た。

「中国に対する偏見をな
くし、日中の友好交流に
関心を持つ生徒を育てた
い」(教員、女性)「物見
遊山の観光ではなく、人
と人がつながる観光をつ

日中青年代表交流

県では、30年間の友好
関係にある中国浙江省と、
日本と中国の友好交流と
相互発展の促進を担う人
材の養成を目的に、平成
23年度から青年交流事業
を行っています。

本年度は、県内の経済
産業、教育、行政など各
分野の20代から40代
の青年26人が集い、浙江
省の青年26人との交流
と事前・事後セミナーを
実施しました。

浙江省との交流

8月9日から7泊8日
で浙江省と上海を訪問し
ました。10日には、交
流パートナーとなる浙江
省の青年と初対面を果た
し、青年の家庭等でのホ
ームステイを体験した他
現地企業や日系企業の視
察、班別での企業・学校
関係人との情報交換会な
どを行い、中国の今を肌
で感じました。

浙江省の交流パートナー
とのメールやSNSを
活用した交流、静岡の青
年同士の交流の継続、そ
して日中交流の継続、そ
して日中交流をさらに深
めた「架け橋プラン」の実
現です。

静岡県での交流

11月1日、浙江省の青
年が来日して開催した静
岡県での交流では、交流
パートナーのホームステ
イ受入れ、日中青年によ
る意見交換会等を行いま
した。浙江省の青年は、
静岡の豊かな食と自然、
大道芸のイベントや地域
のお祭りなどを堪能し、
本県青年による「おもて
なし」に大いに満足した

「中国に対する偏見をな
くし、日中の友好交流に
関心を持つ生徒を育てた
い」(教員、女性)「物見
遊山の観光ではなく、人
と人がつながる観光をつ

終わりでなく始まり

7月から、約5か月間
にわたった本交流は、12
月のセミナーで終了しま
したが、参加青年の事後
活動は、既に始まってい
ます。

「中国に対する偏見をな
くし、日中の友好交流に
関心を持つ生徒を育てた
い」(教員、女性)「物見
遊山の観光ではなく、人
と人がつながる観光をつ

25年度主な実施内容

事前セミナー(7・8月)
8月の訪中に向けて、中国概論
講座、中国語講座、グルー
プワーク等を実施

「中国に対する偏見をな
くし、日中の友好交流に
関心を持つ生徒を育てた
い」(教員、女性)「物見
遊山の観光ではなく、人
と人がつながる観光をつ

静岡県での交流(11月)

静岡市内での歓迎セッション(上)
青年意見交換会(下)

「中国に対する偏見をな
くし、日中の友好交流に
関心を持つ生徒を育てた
い」(教員、女性)「物見
遊山の観光ではなく、人
と人がつながる観光をつ

浙江省での交流(8月中旬)

浙江省杭州市での西湖遊覧(上)
中国移动通信視察(下)

「中国に対する偏見をな
くし、日中の友好交流に
関心を持つ生徒を育てた
い」(教員、女性)「物見
遊山の観光ではなく、人
と人がつながる観光をつ

事後セミナー(12月)

参加青年が交流の成果と今後の
交流の実践プランを発表した
交流報告会

「中国に対する偏見をな
くし、日中の友好交流に
関心を持つ生徒を育てた
い」(教員、女性)「物見
遊山の観光ではなく、人
と人がつながる観光をつ

25年度主な実施内容

事前セミナー(7・8月)
8月の訪中に向けて、中国概論
講座、中国語講座、グルー
プワーク等を実施

「中国に対する偏見をな
くし、日中の友好交流に
関心を持つ生徒を育てた
い」(教員、女性)「物見
遊山の観光ではなく、人
と人がつながる観光をつ

静岡県での交流(11月)

静岡市内での歓迎セッション(上)
青年意見交換会(下)

「中国に対する偏見をな
くし、日中の友好交流に
関心を持つ生徒を育てた
い」(教員、女性)「物見
遊山の観光ではなく、人
と人がつながる観光をつ

浙江省での交流(8月中旬)

浙江省杭州市での西湖遊覧(上)
中国移动通信視察(下)

「中国に対する偏見をな
くし、日中の友好交流に
関心を持つ生徒を育てた
い」(教員、女性)「物見
遊山の観光ではなく、人
と人がつながる観光をつ

事後セミナー(12月)

参加青年が交流の成果と今後の
交流の実践プランを発表した
交流報告会

「中国に対する偏見をな
くし、日中の友好交流に
関心を持つ生徒を育てた
い」(教員、女性)「物見
遊山の観光ではなく、人
と人がつながる観光をつ

実践NOTE

開校から6年目 学校文化の創造と 伝統づくり

湖西市立岡崎中学校 教頭 内藤 勝義



筆者

うと生徒、PTA、学校職員が意気に燃えています。その合言葉が「ウィッツ プライド」(誇りを胸に)なのです。



開校記念「WITH PRIDE」の碑

環境や人に優しい エコ学校

校舎は、人や環境に優しい造りになっています。南校舎の屋根一面に張られたソーラーパネル、教室や廊下の壁にふんだんに使われている間伐材(校歌の中にも「木の香やさしく」と歌われています)、センサで自動

化された清潔なトイレ、ベンチのある広い廊下など。また、各所に点字ブロックやスロープが設置され、バリアフリーになっています。これらのすばらしい施設・設備を、教科や総合的な学習の時間などを利用して、教育活動に生かしています。

「人間関係づくりエクスサイズ」

生徒同士の交流を深め、人間関係づくり能力を高めるため、隔週で「人間関係づくりエクスサイズ」



級友の思いや考えに触れる(人間関係づくりエクスサイズ)



広い廊下の清掃活動

という活動を実施しています。学級でのトランプゲームやグループエンカウンターなどを通して、級友の思いや考えに気付いたり、少しずつでもスキルを高めたうえで、この活動についての生徒の感想で、「最初の頃は、ただやってみただけで終わっていました。そのようになって、ふと思つたのは『目的が達成できていない』ということでした。そこで、普段接すること

百年後もきれいな学校で

「百年後もきれいな学校で」を目標に、清掃や美化活動に取り組んでいます。掃除の時間になる前、黙って真剣に掃除に取り組みよう放送が流れ、生徒たちは黙々と1枚1枚のブロックを雑巾がけします。また、美化委員を中心として、美化コンクールが実施され、清掃道具の整頓、机・椅子の整頓、雑巾の有無などを調べ、全学級で競い合います。一人一人が身の回りをきれいに保つことの大切さを意識できるようにしています。また、教師も汚

実践NOTE

専攻科臨床実習 視覚障害を持つ生徒の 社会自立に向けて

静岡県立浜松視覚特別支援学校 高等部専攻科 教諭 佐藤 晴彦



筆者

専攻科とは…

専攻科は、本校高等部に設置されている視覚障害者に対する職業教育課程です。あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師(以下「あはき師」と略す)の養成を目的としています。3年の課程を修了することで、あはき師の国家試験の受験資格が得られます。

実習を繰り返す中で

実習に出たばかりの生徒は、ただカルテの処方通りに施術をこなすことで精一杯です。施術をするのに予定の時間を超える

求められる力の習得

あはき師の就業先は病院、治療院、高齢者福祉施設、企業、健康ランド等多岐にわたります。このため同じあはき師として就業しても、そこで求められる技術、対象者への対応やコミュニケーションの在り方は異なります。卒業時点で必要なのは、就業先の環境に適應して、速やかにそこで成長していくための土台と



鍼の指導をする筆者



臨床実習(鍼治療)



臨床実習(触診)



満願峰山頂からは美しい富士山が見えました。(昨年の様子)

てしまふ。痛い所に手がいかない。医療的な会話をもとより、一般的な会話にすら口を開くことができなくなる。

こうした状況で施術をし、どうにかカルテに記録し、また施術をする。そんな繰り返しのなかで、彼らは次第に変わっていきます。処方箋の意義が分かると、スムーズに施術ができるようになります。患者と余裕を持つて話せるようになります。1回の実習は3時間で、生徒は2人程度の患者に施術を行います。1年間で担当する患者数は、延べ250人程度にのぼります。

臨床実習ではそれまでに習得した知識と技術を用いて患者への診療を通じて統合していく場です。また、同時に社会人としての素養を養う場でもあります。

臨床実習ではそれまでに習得した知識と技術を用いて患者への診療を通じて統合していく場です。また、同時に社会人としての素養を養う場でもあります。

臨床実習は、視覚障害を持つ生徒があん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師(以下「あはき師」と略す)の養成を目的としています。3年の課程を修了することで、あはき師の国家試験の受験資格が得られます。

臨床実習は、視覚障害を持つ生徒があん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師(以下「あはき師」と略す)の養成を目的としています。3年の課程を修了することで、あはき師の国家試験の受験資格が得られます。

焼津さわやかハイキング「歩がやま、焼津」参加者募集

焼津には人気のハイキングコースが数多くあります。今回は満願峰への登山ハイキングの他、青少年の家で独自に設定した体験型の焼津下町ハイキング(選択コース)など、焼津の新たな魅力に出会える2日間を用意しています。少し早い春の訪れを、新たな発見と共に感じてみませんか?御家族で、友達同士で、皆様に参加をお待ちしています。

参加費 1人5000円 ※このほかに選択コースの教材費がかかる場合があります。

三陸復興に向けた遺跡調査②

岩手県派遣職員文化財保護課 武田寛生



久慈市での発掘調査

厳しい冬を迎えて

東日本大震災の復旧・復興事業に伴う埋蔵文化財発掘調査を支援するため、4月に岩手県教育委員会に赴任して、ほぼ10か月が過ぎました。

春には、一斉に山々に芽吹く新緑を、秋には川を遡上する鮭、山々を彩る

紅葉など、多くの美しい風景を目にすることができました。しかし、岩手の気候・風土も美しいだけではありません。11月からは、発掘調査現場では、一晩で数センチの長さに育った稲柱を削り取る作業が毎朝の日課となっており、厳しい寒さとの戦いが始まっています。

発掘調査現場では、一晩で数センチの長さに育った稲柱を削り取る作業が毎朝の日課となっており、厳しい寒さとの戦いが始まっています。

被災地の状況

津波で甚大な被害を受けた沿岸部でも、最近では積み上げられた瓦礫はほぼ姿を消し、高台のあたりからこちらで多くの建設重機が動き、土砂を積ん

うになりながら参加した入学式を懐かしく思い出します。

教育という職のすばらしさ

「縁」

静岡県立御殿場特別支援学校 教諭 勝又飛鳥



修学旅行にて(筆者中央奥)

どつぱりと特別支援に浸かるとは、その時は思ってもみませんでした。

初めての担任は小学部の1年生でした。7人の児童に3人の担任。小学校での教育実習で自信を失っていた私は、何て幸せな環境だろうとワクワクしながら子どもたちを迎えました。「おはよう」

出会い

「これも何かの縁です」から「全ての始まりはその一言からでした。それから20年。自分がこんなに多くの縁に恵まれ、

身そのような条件下での発掘調査は経験がなく、現場の安全管理はもちろ

「個」で勝負する 「個」とは「かず」と言

「個」で勝負する 「個」とは「かず」と言

「チーム」で勝負する 当時の学習の中心は「遊

「個」で勝負する 「個」とは「かず」と言

「チーム」で勝負する 当時の学習の中心は「遊

「個」で勝負する 「個」とは「かず」と言

「チーム」で勝負する 当時の学習の中心は「遊

「個」で勝負する 「個」とは「かず」と言

「チーム」で勝負する 当時の学習の中心は「遊

「個」で勝負する 「個」とは「かず」と言

「チーム」で勝負する 当時の学習の中心は「遊

「個」で勝負する 「個」とは「かず」と言

「チーム」で勝負する 当時の学習の中心は「遊

「個」で勝負する 「個」とは「かず」と言

「チーム」で勝負する 当時の学習の中心は「遊

「個」で勝負する 「個」とは「かず」と言

「チーム」で勝負する 当時の学習の中心は「遊

「個」で勝負する 「個」とは「かず」と言

「チーム」で勝負する 当時の学習の中心は「遊

「個」で勝負する 「個」とは「かず」と言

「チーム」で勝負する 当時の学習の中心は「遊

「個」で勝負する 「個」とは「かず」と言

「チーム」で勝負する 当時の学習の中心は「遊

「個」で勝負する 「個」とは「かず」と言

「チーム」で勝負する 当時の学習の中心は「遊

「個」で勝負する 「個」とは「かず」と言

「チーム」で勝負する 当時の学習の中心は「遊

「個」で勝負する 「個」とは「かず」と言

「チーム」で勝負する 当時の学習の中心は「遊

「テーマは富士山」 祝祭事業

文化政策課では、富士山の世界遺産登録を記念して、県民公募による「テーマは富士山」祝祭事業を実施しました。

富士山世界遺産記念祝祭演奏会

9月16日、富士市文化会館ロゼシアターで、静岡県アマチュアオーケストラ連盟の皆さんによる演奏会を開催しました。

現代アート de 富士山提灯行列

12月1日、掛川城下では、美術家がデザインした富士山アート提灯を手

「優秀教職員表彰」 被表彰者を決定

静岡県教育委員会は、1月10日に平成25年度静岡県教育委員会優秀教職員表彰被表彰者を決定し、表彰

平成25年度 優秀教職員表彰被表彰者数

校種	被表彰者数	
	男	女
幼稚園	2	0
小学校	171	60
中学校	90	56
高等学校	139	108
特別支援学校	25	9
合計	427	233

【教育総務課】

教職員のための季節レシピ⑦ 野菜たっぷりポトフ



忘年会や新年会が続く、胃腸の具合が...という方もいるかもしれません。胃に優しく、からだが温まり、野菜もたくさん取れる料理はいかがでしょう。

材料(2人分) (1人分のカロリー245kcal) ウィンナー4本、たまねぎ1/2個、じゃがいも小2個、にんじん1/2本、キャベツ1/4玉、しめじ1/2株、コンソメキューブ1個、水3カップ、ローリエ1枚、塩・コンソール適宜、粒マスタード

- ① ウィンナーに切り込みを入れる。たまねぎはくし切り、じゃがいもは1つを半分に、にんじんは乱切り、キャベツは半分が4等分、しめじは食べやすい大きさに切る。
- ② ①を鍋に入れ、ひたひたになるくらいの水、コンソメとローリエを入れる。中火にかけ、あくを取り、味をみて塩・コンソールをする。沸騰したら蓋をして弱火にし、15分程度煮る。
- ③ お皿に盛り付け、お好みで粒マスタードを添えれば出来上がり!

～お好みの素材や調味料で 豊富なバリエーションを～

- ウィンナー以外でも、ベーコン、牛すね肉、とり手羽元などを煮てもよいスープがです。(煮込み時間が少し長くなります。)
- かぶ、大根、白菜などの冬野菜を入れてもおいしいです。また、しめじの代わりにエリンギも合います。
- 多めにつくり、2日目はルーを入れてカレーやシチューにしたり、トマトピューレやトマト水煮缶を入れてトマト風味のスープにしたりできるため、飽きずに食べられます。

おまかせ Angle
子どもの目線で考える
 ～図画工作の指導～

小学3年生の表現と鑑賞の授業です。絵画を鑑賞し、これを基に自分たちの「生命の木」を製作して「学習活動の二つの場面」です。



仲間と対話しながら作業

ない色を使った方が、迫力が出るんじゃないかな」と続きます。子どもたちは、自分が感じ取った色の印象を基に考え、仲間と対話しながらイメージを深めていきました。

自分なりのイメージ
 製作の中で、何やら迷っている班がありました。そこで先生は、活動を止め、全員に製作中の作品を鑑賞させます。B君が「迫力を出したいけれど、どうしたらいいと思いますか」と問いかけます。Cさんは「薄い色じゃなくて濃い色がいいのかな」と発言。D君は「赤とかオレンジ系かね」と具体的な色を挙げました。そこでEさんが「この絵に

【共通事項】の視点から図画工作の学習では常に「共通事項」を土台として指導していきます。「共通事項」とは、表現や鑑賞の活動に共通に働く資質や能力が示されたものです。具体的には、「児童が自分の感覚や活動を通して形、色、動きや奥行きなど造形的な特徴を捉え、これを基に自分のイメージを持つこと」で、これらが、十分に行われる活動を工夫することが求められます。そこで教師は、子どもたちが色や形、材料などの特徴に気付き、試行錯誤したり話し合ったりできる活動を展開し、「共通事項」の視点から、よい表現やつまづきを見付け指導する子どもの表現の過程を丁寧に見取り、学びの実感や新たな願いを持っている図画工作の授業を目指していきたいものです。

今年も“文学のふるさと”伊豆で開催します！伊豆文学フェスティバルの参加者募集

第17回伊豆文学賞の表彰式、審査員の作家による伊豆文学塾を開催します。表彰式では、審査員による講評や最優秀賞に輝いた作者の「受賞の言葉」により、受賞作品の優れた点や作品に込められた思いを知ることができます。



また、座談会は、文壇で活躍する作家の執筆の様子や、伊豆を舞台にした名作の誕生裏話など、プロの作家だから話せる、愉快でしかも含蓄のあるエピソードが盛りだくさん。文学ファン必見の企画です。

- ◇日時 3月2日(日)午後2時～午後4時
- ◇場所 旧湯ヶ島小学校(伊豆市湯ヶ島136)(会場へは修善寺駅からの無料シャトルバス有り)
- ◇内容 表彰式、審査員(作家)による講評、座談会など(審査員:村松友親さん、嵐山光三郎さん、太田治子さん)
- ※当日午前中に「ガイド付き文学散歩」を伊豆市の協力により特別に開催します。(有料・昼食付き)

問・申 県文化政策課「伊豆文学」係
 TEL054(221)3109 FAX http://www.izufes.net/IzuFes/

〈平成25年度 総合教育センター長期研修員研修報告会テーマ一覽〉

研修員	研究主題	サブテーマ
森田 香織 (藤枝市立高洲南小学校)	若手教員と先輩教員が互いに学び合える校内研修	授業力を育成するメンターチームの取組を通して
西島 幸代 (三島市立山田中学校)	学校組織の活性化を図る教員相互のコミュニケーションの手立て	情報をつなぎ人が動き出す場のデザインを通して
高塚 由佳利 (掛川市立桜が丘中学校)	研修主任をリーダーとする研修部のチーム力向上のための手立て	校内研修の効果的な企画・運営に向けて
長谷川 祐司 (沼津市立第三小学校)	児童の活用力を育てる小学校理科の授業	発展的課題を取り入れた単元モデルの提案
伊藤 賢一 (御殿場市立御殿場中学校)	中学校におけるユニバーサルデザインの考え方を取り入れた授業づくり	一どの生徒も「できた」「分かった」と感じられる授業モデルの提案
篠原 美奈子 (富士宮市立東小学校)	人とかかわることのよさや楽しさが感じられる人間関係づくり	個々の表れに添った継続的な支援を通して
土屋 雅信 (湖西市立岡崎中学校)	規律を守り行動する生徒を育てる指導	道徳の時間等を土台とした人間関係づくりを行う実践を通して

学校改善の「鍵」
「マニ」にあります!!

学校は多くの課題を抱えています。このような課題を解決するために、7人の小・中学校教員が、学校を離れ、1年間研修を深めてきました。その成果を報告します。

- 日時 3月6日(木)午後1時15分から4時15分まで
- 会場 静岡県総合教育センター
- 研修 県総合教育センター教職員研修課マネジメント研修班

2月21日までに申込書をFAXにて。(申込書は2月に各小・中学校に配付します。当センターHPにも掲載します) 問合せ・申込先 県総合教育センター教職員研修課マネジメント研修班 TEL0537(24)9722 FAX0537(24)9727

静岡県教育委員会
フェイスブックページのススメ
 県教委の活動や各種イベント等をフェイスブックで発信しています。現在、260いねを突破。周りの方にもお薦めください。県教委HP内のバナーからアクセスを。
 問 教育政策課 TEL054(221)3391

「有徳の人」の育成を基本目標とする静岡県教育振興基本計画第2期計画を生涯学習審議会からの答申等を踏まえて、作成することについては、Eジャーナル118号の1面で紹介しました。計画見直しのポイント

「有徳の人」に会いに行こう
 其の八
 静岡県教育振興基本計画第2期計画
 「有徳の人の一層の育成を目指して」

「オール県庁」での作成作業が大詰めを迎えつつある第2期計画には、初

時代の流れや教育に関するトピックスを反映しているか
 ▼有徳の人の姿を一層具現化するための取組を盛り込んでいるか
 ▼教育問題は現在、国民の大きな関心事となっています。市町教育委員会や学校現場、生涯学習の現場など、教育活動を実践する方々にとって実効性の高い計画となるよう、引き続き静岡県教育振興基本計画第2期計画の作成に取り組んでまいります。
【教育政策課】

期計画に比べて多くの取組を掲載しています。時代の潮流を踏まえた取組として、「命を守る教育」をキーワードとした防災教育等の推進や、「確かな学力」を育成するための新たな施策を盛り込みます。また、小学校教育との円滑な接続や子育て支援活動など、幼児期における教育・支援の充実や、グローバル人材の育成を目指す高等教育の充実にも取り組んでいきます。さらに、「自助」「共助」「公助」の考え方により、計画への掲載が予定されている多くの取組は、個人として自立し、他者と関わり合い、社会に参画し行動する「有徳の人」の育成を支援するものです。

グッズのイメージ写真とラベル:

- cap (帽子)
- bibs (水着)
- blouson (ブルゾン)
- apron (エプロン)
- raglan (ラグラン)
- jacket (ジャケット)
- towel (タオル)
- parka (パーカ)
- bag (バッグ)

文化祭・体育祭など 各イベントでご利用ください。卒業記念品もご提供致します。

みなさんのデザインで、オリジナルグッズを作ってみませんか?

オリジナルショップ **グッズ**
 〈見積り無料〉お気軽にご相談下さい。
Tel.054-285-6502
 〒422-8066 静岡市駿河区泉町5-33-1F
 Fax.054-286-3041